稲賀繁美

国際日本文化研究センター教授／文化庁史

【内容】

食道癌を病んだ内田義彦は、晩年、集中治療室から生還してしっかり健康を回復した。

① 内田義彦『形の発見』

全九巻

一时、日本仏教に違い経をつくされ、日本発信の思潮を世界の研究者に提供するため、日本仏教の人類学的な研究を積み重ねてきた内田義彦の思想を、この『形の発見』という言葉の意味をLebenswesenという言葉で表現する。生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る生命を極限にまで切り詰めて残る
Lebenswesen...